

# Whisper

～親の悩み事～

2018年8月発行 塾内報 番外編

## 子どもの将来、子どもの学校生活、 親が抱える悩みは尽きない！



子供を取り囲む環境は、自分の時とは違う。全てが手探り。みなさんはどうしているのか。どのように子どもと接しているのか。何が正しいのか。親の悩みは尽きません。また、子供の将来のことを考えても、これもまた分からないこ

とだらけ。高校選び、大学選びなど、情報収集するにも何を信用してよいのか。そんな皆さんのお悩みに、私たちがお応えしていきます！ここでの話が、みなさんのお役に立てれば幸いです。



**目標の割には、  
勉強している姿が見えない！**

もしかすると、現実にぶち当たって、心が折れているのかもしれない。目標を口にしてしまった以上、引くに引けない状況かもしれません。今一度、お子さんと目標や今後のことを話し合ってみてはいかがでしょうか。



**学校の成績が良なくて。  
大学受験に影響がでないかしら**

推薦入試を考えている場合は、評定が必要になります。また、一部の国公立大学では、2次試験の配点の中に、調査書が含まれることがあります。しかし、大半の場合は、評定が決定的な資料として使われることはありません。



**浪人して欲しくないけど、  
私立大学の倍率が心配・・・**

18年春の東北学院大学の倍率をみても、昨年に比べ、2倍になっています。これは、多くの高校生が、国公立大学に出願できず、私立大学になだれ込んだ結果だと思われれます。模試で判定が良くても、しっかりと対策をすることを勧めます。



**センター重視、2次重視、  
一体何のことか分かりません**

国公立大学は、センター試験の点数と2次試験の点数の合計点で合否が決まります。その配点の割合のことを指します。センター重視の場合、センター試験の点数をとらないと、合格は遠くなるということです。



**国公立大学を受験すると、  
何科目必要なんですか？**

まず、センター試験で、文系の場合は、11科目、理系の場合は、10科目を受験します。2次試験では、基本は2～3科目です。センター試験を考えると、色々不安になられるとは思いますが、まず取り組むのは自分の系統科目です。



**うちの子供が浪人したら、  
移行措置は受けられるの？**

2018年7月現在のところ、移行措置はないと言われています。よって、万が一、再度受験をし直すとなると、新課程の方式で受験することになります。ですから、現高校2年生世代の入試は、誰もが現役に「こだわる」ため、かなり厳しい入試になると言われています。

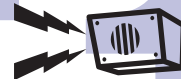


# Whisper

～親の悩み事～

2018年8月発行 塾内報 番外編

大きく教育が変わる学年だけに、  
何が正しいのか、親も分からない！



子供を取り囲む教育環境に、大きな変化が訪れようとしています。これまでも、様々な教育改革が行われてきましたが、これほどまでに大きな変動が起こるのは過去に例がありません。その日が来てからでは手遅れになります。

少しでも早く動き出すことが求められる空気の中、親として、こういった意識をもてばいいのか、これから抱えるであろう「親の苦悩」をピックアップし、その内容と対処について触れてみたいと思います。



**想像以上に部活動が忙しそう  
勉強との両立は大丈夫かしら**

部活動が義務化されている高校もあれば、高校受験の反動で勉強以外のことに没頭する高校生もいます。大切なことは、自分は自分、人は人と割り切って考えさせることです。他者との比較は、余計なレッテルの増加になります。



**宮城県にある国公立大学に  
通う宮城県出身者はどれくらい**

平成30年の入学者において、宮城大学は65%、宮城教育大学は57%、東北大学は15.1%が宮城県出身者です。東北6県の中で、東北大に一番入学しにくい県が宮城県です。余談ですが、最近、在仙私大の倍率も上昇しています。



**英語の4技能って何？  
これからの英語はどうしたら**

英語の4技能とは、読む・聴く・話す・書くを指します。といっても、昨今の大学では、入学と同時にTOEICを受けさせるなど、英語教育への意識が高くなっています。世界で評価される能力として4技能の取り組みが必要ということです。



**推薦入試の制度が変わるの？  
学校の成績以外に何が必要？**

今後、推薦入試には、面接や小論文以外に、教科知識の試験が課される予定です。実際、推薦入試で入学した生徒と一般入試で入学した生徒との学力差問題をよく耳にします。「自大学に必要な最低限の学力の確認」が目的と思われます。



**センター試験に記述式の  
問題が出題されるって本当？**

センター試験廃止に伴い、それに変わる入試において、国語と数学では、記述式が一部採用されると発表されています。「考えを伝える」ための解答を欠ける能力が試されます。「解答の過程重視」へのシフトが求められます。



**センター試験に変わる試験  
解答が複数あるって本当？**

科目に関係なく、その問題に適する条件を複数選ぶという出題形式になると発表されています。お試して大学生や高校生に解かせたようですが、正答率の低さが問題になっています。知識の正確性がものをいう入試ですね。

